

各 位

上場会社名	FCM株式会社
代表者	代表取締役社長 市居 律雄
(コード番号	5758)
問合せ先責任者	取締役管理部長 丸山 仁
(TEL	06-6975-1324)
親会社	古河電気工業株式会社
代表取締役	小林 敬一
(コード番号	5801)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 30 年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 29 年4月 1 日～平成 30 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,707	313	305	195	114.45
今回修正予想(B)	22,800	490	490	315	184.89
増減額(B-A)	3,093	177	185	120	
増減率(%)	15.7	56.5	60.7	61.5	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年3月期)	18,898	286	279	178	104.50

修正の理由

電気機能線材事業においては、主力の建設・電販向け需要が旺盛なことに加え、平角線・異形線なども堅調に推移しており、年度の予想を上回る見込みとなりました。

一方の電子機能材事業では、年度初めに見込んでいた生産方法の改善が計画より遅れていましたが、製品群の集約や人員配置の最適化による生産性の向上などに一定の目途がつき、第3四半期に入ってようやく改善の効果が現れ始めました。民生関連のコネクタ・端子類の引き合いは引き続いて旺盛で、年度末に向けて受注を消化するとともに関連する経費の削減も並行して進めています。その他のパワーエレクトロニクス関連や自動車部品向けも、計画通り順調に推移しています。

以上のように、これまで堅調であった電気機能線材事業に加えて、従来から利益貢献度の高かった電子機能材事業の回復にも目途が立ったため、通期の業績予想を修正することとします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 29 年5月9日発表)		35.00	35.00
今回修正予想		56.00	56.00
当期実績	0.00		
前期実績 (平成 29 年3月期)	0.00	32.00	32.00

修正の理由

当社の利益配分については、配当性向の目標を30%とし業績に連動した配当金とすることを基本方針としています。業績予想の修正にありますように、平成30年3月期通期の当期純利益を315百万円と予想していますので、期末の配当予想を1株当たり56円に修正しました。

以上